

平成26年度福島県献血推進計画 実績（抜粋）

（平成27年3月末現在）

第1 平成26年度に献血により確保すべき血液の目標量

1 献血により確保すべき血液の目標量

(1) 需要見込量

平成26年度の輸血用血液製剤は赤血球製剤119,000単位、血漿製剤55,000単位、血小板製剤127,000単位が必要と見込まれる。

また、原料血漿は14,310リットルの確保が国から割り当てられている。

(2) 献血目標量

県内で必要とする血液を県民の献血により確保するとともに、割り当てられた原料血漿を確保するため、平成26年度に献血により確保すべき血液の目標量を、200mL献血が1,360リットル、400mL献血が24,413リットル、血漿成分献血が2,655リットル、血小板成分献血が5,142リットルの計33,570リットルとする。

計画に対する実績（平成27年3月末現在）	（前年同期比）
200mL献血： 1,285.60L 達成率 94.5%	対前年比 47.8%
400mL献血： 23,512.80L 達成率 96.3%	対前年比 104.7%
血漿成分献血： 2,198.00L 達成率 82.8%	対前年比 76.5%
血小板成分献血： 5,426.87L 達成率105.5%	対前年比 87.6%
合 計： 32,423.27L 達成率 96.6%	対前年比 94.7%
原料血漿確保量： 68,554.35L 達成率103.9% 対前年比 100.9%	
* 原料血漿確保量及び達成率については、東北ブロックにおける実績	

2 全血献血及び成分献血の実施方法

全血献血（200mL、400mL）は、県内の各市町村を巡回する福島県赤十字血液センター（以下「血液センター」とする。）の移動採血車による確保を主体とする。血液センター（固定施設）においては、Rhマイナス型や緊急時の全血献血への対応と併せて、通常的全血献血、特に400mL献血の確保にも対応する。

計画に対する実績（平成27年3月末現在）		（単位：L）	
	移動採血車 （市 町 村）	血液センター	合 計
目 標	21,391	4,382	25,773
全血献血量	20,446	4,352	24,798
目標達成率	95.6%	99.3%	96.2%

第2 前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

1 献血に関する普及啓発活動の実施

(1) 献血推進キャンペーン等の実施

県は、特に必要性が高い400mL献血及び成分献血の推進及び普及のため、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月から2月までに「はたちの献血キャンペーン」を実施する他、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、様々な広報手段を用いて、県民に献血への理解と協力を呼びかけるとともに献血場所を確保するため、関係者に必要な協力を求める。

愛の血液助け合い運動（7月1日から同月31日まで）

実施状況

県内13市において街頭献血キャンペーンを次のとおり実施した。

月 日	市 名	献血者数	200mL献血	400mL献血
7月 6日(日)	福島市	90	21	69
7月 7日(月)	相馬市	93	13	80
7月13日(日)	南相馬市	135	19	116
7月13日(日)	会津若松市	74	12	62
7月15日(火)	二本松市	66	12	54
7月17日(木)	白河市	193	64	129
7月20日(日)	郡山市	75	13	62
7月20日(日)	喜多方市	79	10	69
7月20日(日)	いわき市	103	15	88
7月21日(月)	本宮市	142	29	113
7月24日(木)	伊達市	183	29	154
7月25日(金)	田村市	104	11	93
7月27日(日)	須賀川市	94	11	83
合 計		1,431	259	1,172

はたちの献血キャンペーン（平成27年1月から同年2月まで）

実施状況

- ・ 市町村等関係機関に対して、文書等による事業の協力依頼を行った。
- ・ ポスターを市町村、高等学校、福島県献血推進協力会等に配布した。
- ・ ラジオの県政広報番組（キビタンスマイル）を活用し広報を行った。

(2) 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等に対して、ボランティア活動である献血について情報提供や学生献血推進ボランティア等の同世代からの働きかけの支援を行う。

実施状況

- ・ 下記4会場において、高校教育関係者等を対象に「献血と健康教育推進講習会」を開催した。
 1. 福島会場
平成26年8月4日 福島県赤十字血液センター 出席者28名
 2. 郡山会場
平成26年8月11日 ビッグパレットふくしま 出席者26名
 3. 会津会場
平成26年8月18日 会津大学 出席者28名
 4. いわき会場
平成26年8月7日 福島県いわき合同庁舎 出席者27名
- ・ 上記講習会の開催報告を兼ねた冊子「知ってほしい伝えてほしい献血のこと」を作成し、県内全高校等へ配布した。

2 献血功労等の顕彰

- (1) 県は、献血事業に功労のあった団体又は個人に対して福島県知事感謝状を贈呈する。

実施状況

- ・ 平成26年10月8日に杉妻会館で行われた平成26年度健康ふくしま21推進県民表彰式において、献血事業功労知事感謝状を9団体に贈呈した。
 - 1 多田建設株式会社 (福島市)
 - 2 株式会社福島銀行 (福島市)
 - 3 イオンリテール株式会社福島店 (福島市)
 - 4 関口工業株式会社船引工場 (田村市)
 - 5 棚倉町商工会青年部 (棚倉町)
 - 6 高田産商株式会社 (棚倉町)
 - 7 株式会社日東発條白河工場 (西郷村)
 - 8 公益財団法人星総合病院 (郡山市)
 - 9 いわき信用組合本部 (いわき市)

(2) 県は、各市町村の協力を得て、国が開催する献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰等に対し、積極的に該当団体等を推薦する。

実施状況

- 第50回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状候補者として2団体、同感謝状候補者として7団体を推薦し、受賞した。
なお、平成26年7月24日に福島県赤十字血液センターにおいて表彰状等の伝達式を行った。

1 厚生労働大臣表彰状（2団体）

信越半導体株式会社 白河工場 (西郷村)

福島県立只見高等学校 (只見町)

2 厚生労働大臣感謝状（7団体）

J A福島ビル (福島市)

曙ブレーキ福島製造株式会社 (桑折町)

本宮ライオンズクラブ (本宮市)

株式会社日本デジタル研究所 郡山工場 (郡山市)

須賀川中央ライオンズクラブ (須賀川市)

福島県農業総合センター農業短期大学校 (矢吹町)

堀江工業株式会社 (いわき市)